

平成19年11月9日  
水道・交通委員会  
交 通 局

## 市営バスへのP A S M O (パスモ) 導入の拡大について

### 1 導入状況と今後の予定

市営バスへのP A S M O (パスモ) 導入については、既に平成19年3月から浅間町営業所所管の路線において導入を行い、お客様にご利用いただいております。今後、次のとおり導入を進め、平成20年6月までに導入を完了します。

#### (1) 導入にあたっての考え方

- ア 市営バスでは、1路線を複数の営業所で共同運行しているため、P A S M O が使えるバスと使えないバスが混在し、お客様にご不便をかけることを解消するため、導入については集中的に行い、平成20年6月までに完了します。
- イ グリーンラインの沿線については、開業と併せてP A S M O をご利用いただけるように平成19年度中に整備を行います。

#### (2) 導入状況と予定

営業所	サービス開始(予定)	車両数
浅間町	平成19年03月18日	77両
保土ヶ谷	平成19年11月18日	91両
本牧	12月下旬	71両
若葉台	1月下旬	70両
緑	2月中旬	101両
港北	3月上旬	104両
港南	4月下旬	60両
鶴見	5月下旬	87両
磯子	6月中旬	74両
滝頭	6月下旬	89両

#### 導入順序の考え方

- 本牧は、浅間町と保土ヶ谷との共同運行(18路線)を行っているため、早期に導入します。
- 若葉台、緑、港北はグリーンライン沿線を所管とするため、平成19年度末までに導入します。
- 港南は、上大岡バスターミナルで他事業者がP A S M O の対応をしているため、4月に導入します。

※車両数は、平成19年11月1日現在の路線バス在籍車両数

## 2 導入費

市営バスにおけるP A S M O導入にかかる設備投資額は、約10億円の予定です。

(単位：千円)

	18年度 実績	19年度 見込	20年度 予定	計
ネットワーク等整備	22,270	3,124	20,000	45,394
営業所設備	25,337	157,939	127,000	310,276
窓口設備	0	7,602	7,000	14,602
バス車載設備	64,712	345,710	288,000	698,422
設備費計	112,319	514,375	442,000	1,068,694
補助金	△16,000	△60,000	△60,000	△136,000

※ バス車載設備は国と横浜市から、1台あたり10万円ずつ、計20万円の補助金が受けられます。(年度あたり300台を上限)

## 3 お客様への周知方法

- (1) すべてのバス車内や主なバスターミナル等にサービス開始時期を記載したポスターを掲出します。
- (2) 交通局ホームページにP A S M Oの導入時期や販売場所などを掲載します。

## 4 今後の検討課題

P A S M O導入に伴い、バス定期券をP A S M Oで使えるようにすることや、既存の乗車券を整理することなどが、今後の検討課題と考えております。